

地域保健

9

2020

●特集

コロナ時代の災害支援

●座談会

コロナ時代の保健活動

—ウイルスと共存する社会の健康づくり





6

【特集】

コロナ時代の災害支援

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 8 避難所・避難生活学会からの提言 | 植田信策 (石巻赤十字病院) |
| 12 濃厚接触者と疑似例の避難と課題 | 山村 修 (福井大学医学部) |
| 18 避難所環境におけるトイレと食事の課題 | 根本昌宏 (日本赤十字北海道看護大学) |
| 22 感染防御と個人スペースの拡大 | 水谷嘉浩 (株式会社 J-Packs) |
| 26 感染防御と食事提供 | 下村昭夫 (株式会社 iDISH) |
| 30 コロナ時代の支援スタッフ教育 | 酒井明子 (福井大学医学部) |
| 34 コロナ時代の被災者の自立とコミュニティ形成 | 野原正美 (福井大学大学院医学系研究科) |
| 38 海外の避難所コロナ対策事情 | 北川慶子 (聖徳大学心理・福祉学部) |

42

【座談会】

コロナ時代の保健活動

—ウイルスと共存する社会の健康づくり

- 出席者
- ◎春山早苗さん (自治医科大学看護学部) = 司会
 - ◎岡本理恵さん (名古屋市子ども青少年局子育て支援部)
 - ◎石黒美佳子さん (蒲郡市市民福祉部)
 - ◎陣立良太さん (横須賀市保健所)

② ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 藤富絵里香さん (横浜市中区こども家庭支援課)

⑦⑥ ピープル ▶ 西野博之さん (NPO 法人フリースペースたまりば理事長)

⑧① ニュース

⑨① 情報BOX

⑨⑥ 次号予告/奥付

連載

- ⑥① 高齢者の「通いの場」づくりの取り組みとその効果
《第3回》／細川陸也ほか
- ⑥⑧ ゲーム障害とスマホ依存—地域保健にできること
《第3回》／磯村 毅

- ⑦① 虐待予防は母子保健から《第9回》／鷺山拓男
- ⑦④ ESSAY 国際保健《第39回》／松田正己
- ⑧② 保健師のための閑話ケア《第90回》／藤本裕明
- ⑧⑥ 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第75回》／中臣昌広

ひよこ

ホップ★ステップ★ジャンプ!



梅雨の晴れ間に中区役所近くの山下公園の氷川丸の前で

藤富絵里香さん

ふじとみ・えりか

● 横浜市中区こども家庭支援課

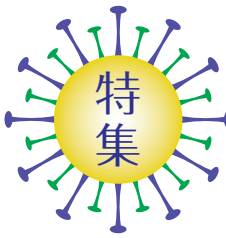
自治体だけでは抱えきれない多くのことを、地域の人も巻き込んで解決し、顔の見える環境づくりが目標！



横浜市は18の区からなる政令指定都市で、現在の総人口は日本の市町村で最も多い。その広大な面積の中には、農用地帯や工業地帯などさまざまな風景があるが、多くの人がイメージするのは、「オシャレな港町・横浜」ではないだろうか。まさにその風景を有している場所が、3年目の保健師、藤富絵里香さんが勤務する中区である。日本の中でも、とりわけ歴史深い個性豊かな地域における保健活動について伺った。

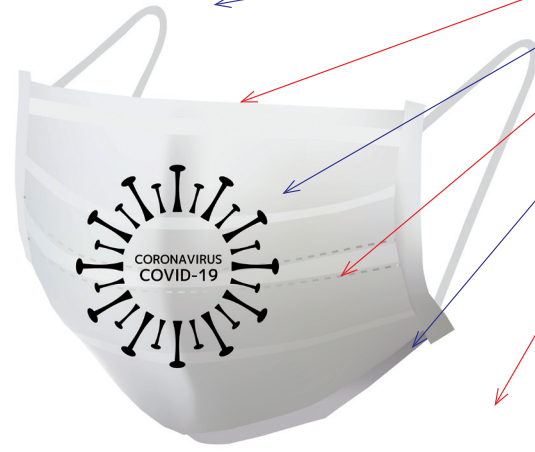
海外研修やボランティアツアーが保健師を目指すきっかけに

山口県岩国市で生まれた藤富さん。中学・高校時代は、隣の広島県にある私立の一貫



コロナ時代の 災害支援

コロナ禍が続く中、地震や豪雨災害などと重なる「複合災害」が懸念されている。例えば、避難所の環境はコロナ対策で危険視される「3つの密」になりやすい。令和2年7月豪雨の被災地では、避難所に段ボールベッドと間仕切りを設置するなど、新しい生活様式が実践された。避難所のトイレ、風呂、ごみ、食事については感染防止の徹底と、支援スタッフ全員がルールを共有することが求められる。特集ではコロナ禍における災害支援の在り方について、避難所を中心にまとめた。



- P 8 避難所・避難生活学会からの提言
◎植田信策（石巻赤十字病院）
- P12 濃厚接触者と疑似例の避難と課題
◎山村 修（福井大学医学部）
- P18 避難所環境におけるトイレと食事の課題
◎根本昌宏（日本赤十字北海道看護大学）
- P22 感染防御と個人スペースの拡大
◎水谷嘉浩（Jパックス株式会社）
- P26 感染防御と食事提供
◎下村昭夫（株式会社 iDISH）
- P30 コロナ時代の支援スタッフ教育
◎酒井明子（福井大学医学部）
- P34 コロナ時代の被災者の自立とコミュニティ形成
◎野原正美（福井大学大学院医学系研究科）
- P38 海外の避難所コロナ対策事情
◎北川慶子（聖徳大学心理・福祉学部）



新型コロナウイルスの流行で、母子保健事業など保健師の日常業務は滞りを余儀なくされた。ウイルスとの闘いは長期戦が予想され、今後はウイルスと共存しながら感染防止対策と通常健康づくりに取り組んでいくことになる。座談会では、ソーシャルディスタンスを保つなど、新しい生活様式を定着させる中で、住民の健康を守る保健師の活動を継続する方法などについて話し合ってもらった。

座談会は第一波がいったん落ち着いた後、首都圏を中心に再び感染者が増え始めた7月14日に、Zoomを使って行った。

※本文中の新型コロナウイルスの表記は、COVID-19、コロナなどまちまちだが、あえてそのままにしている。



コロナ時代の 保健活動

ウイルスと共存する社会の健康づくり

COVID-19



◆名古屋子ども青少年局子育て支援部
岡本理恵
さん



◆自治医科大学看護学部
春山早苗
さん

司会



◆横須賀市保健所
陣立良太
さん



◆浦都市市民福祉部
石黒美佳子
さん

西野博之さん

●NPO法人フリースペースたまりば 理事長
川崎市子ども夢パーク 所長

「生きてるだけですごいんだ」をモットーに
みんなが助け合える「街づくり」を目指して

神奈川県にある「川崎市子ども夢パーク」所長を務める西野博之さんは、これまで30年以上にわたり不登校の子どもの居場所づくりに関わってきた。生きづらさを抱えた若者たち、子育て中の親や乳幼児など、さまざまな子どもや大人が出会い、共に育ち合う場をつくり続けている。春から始まった全国一斉休校による子どもや親への影響、さまざまな人が出入りする場の感染予防など、ウィズコロナと言われる状況だからこそ、新たに見えてきたこととは――。

●取材文……太田美由紀（ライター）

ここは閉めない
最後の砦として開け続ける

新型コロナウイルス感染症の予防のため、安倍首相は令和2年2月27日、「3月2日から春休みまで、全国の小・中・高・特別支援学校は臨時休校を要請する」と表明した。

川崎市高津区にある「川崎市子ども夢パーク」（以下、夢パーク）の所長を務める西野博之さんは、そのニュースを聞いて

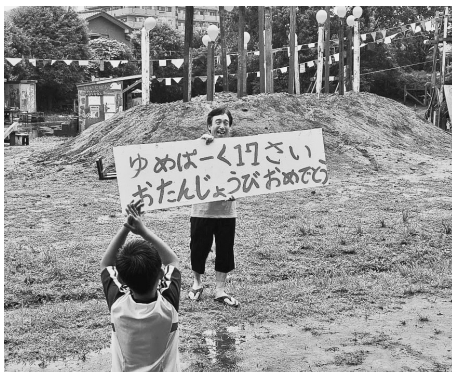
瞬時にこう考えた。

「学校が休校になれば虐待が増える。ここは閉めちゃいけない。子どもや若者の居場所最後の砦として開け続けなければ」

すぐに川崎市に連絡を入れ、閉鎖しない方向で話し合いの場を持った。

「川崎市子どもの権利に関する条例をもとに作った子ども夢パーク。子どもにとって最善の利益は何かを、ともに考えましょう」

川崎市は、国際連合総会で採択された「児童の権利に関する条約」の理念に基づき、



17周年を迎えた日。雨のなかたくさんの親子が集まった。誕生日ケーキのろうそくに見立て土の山にたてた大きな棒の先に風船をつけ、泥を投げて割ってお祝い（写真は西野さんのFacebookより）

特集

コロナ時代のデジタル保健活動

◎「ポストコロナ時代」進化するデータヘルス改革

山下 護（厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課）

◎保健師が読み解くデータヘルス改革

中板育美（武蔵野大学）

◎「オンライン通いの場アプリケーション」について

島田裕之（国立長寿医療研究センター）

◎AIを用いた児童虐待早期発見へ向けた取り組み

◎事例 1 LINEアプリでDV・妊娠SOS・性暴力相談（三重県）

◎事例 2 母子手帳アプリ「おぶいく」の活用（大府市）

◎事例 3 緊急事態宣言下に立ち上げたオンライン24時間相談
（オンラインまちの赤ちゃん保健室 発起人代表 榊原久子）

◎事例 4 オンライン市役所 コロナ対策本部（よんなな会）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 山下 遼 さん（磐田市健康増進課）

ピープル 松岡典子さん（NPO 法人 MC サポートセンター みっくみえ代表）

活動報告 重症心身障害児・医療的ケア児（未就学児）のピア相談
杉並区とNPO法人みかんぐみ協働事業について

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健

令和2年9月号

令和2年9月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行
発行人 菅 国典
制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22
株式会社 東京法規出版
振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】

TEL 03-5977-0300

FAX 03-5977-0385

ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】

TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子

◎印刷・製本＝（株）上野印刷所

◎編集長＝須賀健次

◎編集員＝松岡康子

本誌に掲載された著作物の
複写・転載等の許諾権は、
株式会社東京法規出版が保
有しています。

バックナンバー紹介

2019 年 5 月号

特集「新時代「令和」の保健師 8 つの論点」

令和の幕開けにあたり、保健師に関係する 8 つの論点を取り上げて展望を示す。内容は総論および①キャリアパスとキャリアラダー②委託事業③地区担当制と業務分担制④統括保健師⑤多職種連携⑥家庭訪問⑦レゼンテーション⑧地域共生社会。

2019 年 7 月号

特集「災害時に配慮を要する在宅療養者への支援 — 難病等で医療的ケアが必要な人を中心に」

地震や豪雨などの自然災害が頻発している。災害時に医療的ケアが必要な人に保健師がどのような支援をすればよいかをまとめた。

2019 年 9 月号

特集「性暴力被害者支援 — 現状と課題」

これまであまり深く語られることがなかった性暴力の被害者支援について、トラウマケア、感染症や妊娠・出産、児童虐待、DV など、保健師が深く関わる部分を中心に取り上げる。

2019 年 11 月号

特集「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて」

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の全体像とともに、通いの場、国保データベース、フレイルの概念などのトピックを解説。自治体や後期高齢者医療広域連合の好事例も紹介する。座談会では一体的実施における保健師の役割を中心に考える。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部
FAX : 03-5977-0385

※バックナンバーの価格

(2016 年 3 月号まで) 857 円 + 税 + 送料 154 円 (2016 年 5 月号から) 1,370 円 + 税 + 送料 154 円

2020 年 1 月号

新春座談会「保健師の業務を効果的・効率的に進める」 — 統括保健師は何をすべきか

保健師の業務を効果的・効率的に進めるために、行政経営の視点などを参考に、統括保健師の果たすべき役割を考える。

特集「子どもの自殺を防ぐ」— 10 代を中心に
全体の自殺者数が減る中で 10 代は横ばいもしくは増えている。その実態と対策。

2020 年 3 月号

特集「認知症施策推進大綱で保健師の地域活動はどう変わる？」

共生と予防を車の両輪とする「認知症施策推進大綱」。座談会や事例などを通して、大綱が保健師の役割にどんな影響があるのか読み解いていく。

特別座談会「厚生労働省での学びを地域に」 — 気づき、抱負、今後のビジョン

全国の自治体から出向や研修派遣で厚生労働省に来ている保健師たちが集い、仕事のやりがいや新しく学んだことなどを自由に語り合う。

2020 年 5 月号

特集「健康経営を地域と企業のコラボレーションで」

健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点から戦略的に実践すること。健康経営の本質を考え、地域・職域連携による健康経営の具体的な姿を探っていく。

2020 年 7 月号

特集「どこからが体罰か」 — 体罰等によらない子育て推進における母子保健の役割

「体罰等によらない子育て推進」ガイドラインの解説、逆境的小児期体験の心身への影響、虐待予防最前線として母子保健に期待される役割などをまとめる。

『地域保健』購読のご案内

- 年 6 回、隔月〔奇数月〕1 日発行
 - B 5 判、総 100 頁（本文 96 頁、表紙 4 頁）
 - 価 格 1 冊あたり 1,370 円 + 税、送料 154 円
 - 年間購読 《公費前納および個人》8,137 円（税込、送料弊社負担）
 - 年間購読 《公費後納》9,042 円（税込、送料弊社負担）
- ※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

災害後も健やかな人生を送るための避難所づくりの要点がわかる！
避難所運営にかかわる自治体関係者、ボランティア団体、すべての人に役立つ必携本

いのちと健康を守る 避難所づくりに活かす 18の視点



好評発売中！

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ガイドライン | 10 段ボールベッド |
| 2 トイレ | 11 布団干し |
| 3 衛生 | 12 寒冷期 |
| 4 肺炎 | 13 人間関係 |
| 5 母子 | 14 食事 |
| 6 福祉避難所 | 15 集約と移動 |
| 7 エコノミークラス症候群 | 16 在宅被災者 |
| 8 弾性ストッキング | 17 生活再建と法制度 |
| 9 テント | 18 海外の避難所 |

監修：新潟大学医歯学系呼吸循環外科 榛沢和彦

B5判／本文96頁／モノクロ 定価：本体1,500円＋税
ISSN 2424-0826 第49巻 第3号（別冊）

災害の巨大化の中で、
避難所のあり方が厳しく問われている。
本書は、避難環境の改善と、
被災者の自立に向けての
強いメッセージになるに違いない。

神戸大学名誉教授
室崎 益輝先生 推薦

【執筆者一覧】（掲載順）敬称略

榛沢 和彦	新潟大学	浦野 愛	レスキューストックヤード
室崎 益輝	神戸大学名誉教授	根本 昌宏	日本赤十字北海道大学
田村 圭子	新潟大学	菅原 由美	東北大学
加藤 篤	日本トイレ研究所	辻 一郎	東北大学
中臣 昌広	日本環境衛生センター	笠岡 宣代	国立健康・栄養研究所
中久木康一	東京医科歯科大学	植田 信策	石巻赤十字病院
吉田 穂波	神奈川県保健福祉局	山村 修	福井大学
奥田 博子	国立保健医療科学院	岡本 正	銀座パートナーズ法律事務所
山下 竜一	災害用弾性ストッキング協会	北川 慶子	聖徳大学
草島 進一	オープンジャパン	塩崎 賢明	立命館大学
水谷 嘉浩	Jパックス株式会社	川村 匡由	武蔵野大学名誉教授

発行元：  東京法規出版

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-22

TEL：03-5977-0300 FAX：03-5977-0311 <http://www.tkhs.co.jp>